第 2 講　中央集権国家「日本」の成立
PART 3 中央集権国家の準備

Chapter 1　推古朝の政治・外交

目標
冠位十二階・憲法十七条の制定の背景を知ろう。
遣隋使が中央集権国家の準備となったのはなぜだろう？

1　厩戸皇子〔厩戸王・聖徳太子〕の政治改革

①**厩戸皇子〔厩戸王・聖徳太子〕**の〔1　　　　〕就任（**593 年**）

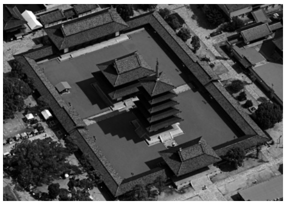
用明天皇の皇子。592 年に叔父の崇峻天皇が暗殺されると，

翌年に叔母の〔2　　　　〕**天皇**の摂政・皇太子となる。

※父の叔父である

〔3　　　　　　　〕との二頭政治がスタート。

これ以降の古墳時代〔大和時代〕を〔4　　　　〕**時代**と呼ぶ。



四天王寺

※同年，**四天王寺（大阪府）**の建立が始まった。

②仏教興隆の詔（594 年）

推古天皇が厩戸皇子と蘇我馬子に命じた。

聖徳太子の一万円札

③〔5　　　　　　　〕（603 年）

徳・仁・礼・信・義・智の冠を大小に分けて

中央豪族個人の才能・功績に対して与え，

昇進も可能となった。**氏・姓にとらわれない人材登用と，世襲制の打破が目的。**

※推古天皇・厩戸皇子・蘇我馬子は位階を授ける側で，地方豪族は対象とされなかった。

④〔6　　　　　　　〕（604 年）

日本初の成文法。豪族に対し，朝廷に仕える役人としての政治的・道徳的訓戒を示す。

また，仏教・儒教を新しい政治理念として重んじた。

⑤**法隆寺〔斑鳩寺〕**の建立（607 年，奈良県）

⑥『**天皇記**』『**国記**』の編纂（620 年）

蘇我馬子と共同で国史を編纂。皇室による支配の正当性を示す。

⑦厩戸皇子の死（622 年）

即位できないまま，推古天皇・蘇我馬子より先に亡くなる。

2 遣隋使の派遣

①［7　　　　　　　］とは？

南朝に冊封された倭の五王とは違い，

中国を統一した**隋との対等外交を目指して使者を派遣**。

※隋が高句麗征討中という事情もあり，結果的に冊封体制から離脱できた。

②年表

589年　北朝の［8　　　　］が南朝の陳を滅ぼして南北朝を統一

598年　隋が高句麗征討を開始

600年　厩戸皇子が新羅征討を計画（602年にも）

『**隋書**』**倭国伝**による第一回遣隋使

607年　『日本書紀』にも記載がある第二回遣隋使として［9　　　　　　　　　］を派遣

※２代皇帝［10　　　　　］，答礼使として**裴世清**を倭に派遣。

608年　裴世清を送るためもあり小野妹子を第三回遣隋使として派遣

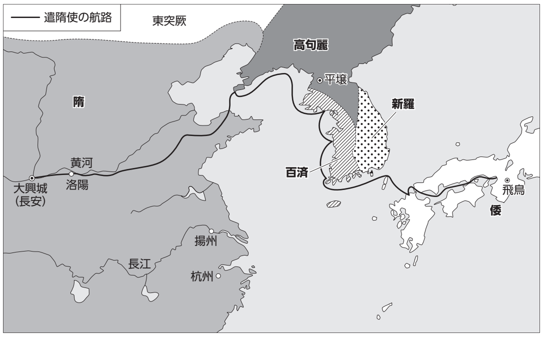
※**高向玄理**や**旻・南淵請安**らが留学生や学問僧として同行。

彼らは隋の滅亡と唐の統一という激動を体験後に帰国し，

大化改新に大きな影響を与える。

614年　犬上御田鍬らを第四回遣隋使として派遣

※これが最後の遣隋使となった。



6世紀末の東アジア

まとめ
遣隋使で未開国の扱いを受け，冠位十二階や憲法十七条が制定された。
遣隋使派遣に伴い最低限の制度が整い冊封体制から離脱したため，
中央集権国家の準備となった。

Chapter２　飛鳥文化

目標
寺院の伽藍配置の変遷について知ろう。
仏像彫刻を二分する特色について知ろう。

1　寺院建築

皇族・中央豪族が担う〔[1]　　　　　〕文化は**日本初の仏教文化**で，

朝鮮半島の百済・高句麗の文化や中国の南北朝文化の影響が強い。

※また，ギリシア・ローマ・ペルシア・インドなどの影響も受け，世界性に富んでいる。

　法隆寺の**エンタシスの柱，忍冬唐草文様**，獅子狩文様など。

①**伽藍配置**の変遷→礎石・瓦を用いた新技法による

　飛鳥寺式→四天王寺式→法隆寺式→薬師寺式→東大寺式→大安寺式。

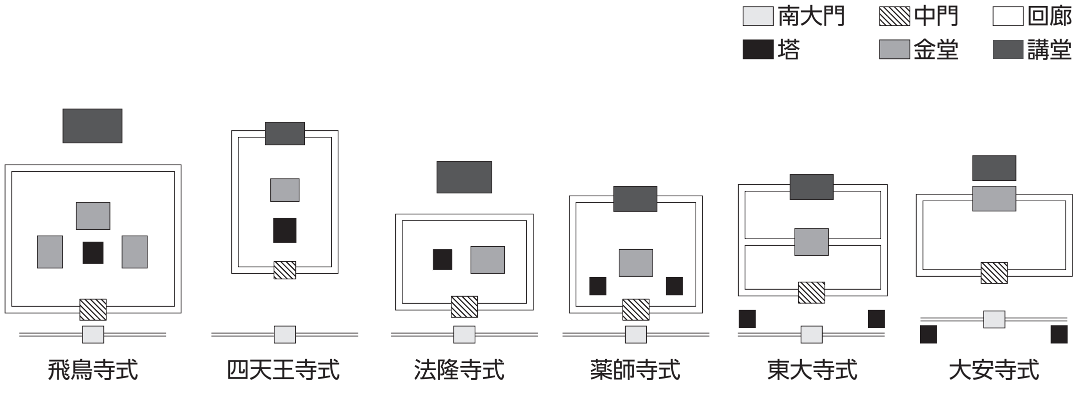
②法興寺〔飛鳥寺〕→蘇我馬子が建立した**日本初の本格的寺院**

③法隆寺〔斑鳩寺〕→厩戸皇子が建立した現存世界最古の木造建築（西院）

　※若草伽藍跡の発掘により再建されたことがわかった。

④広隆寺〔太秦寺〕→秦河勝が山背国（京都府）に建立

⑤百済大寺→舒明天皇が建立



伽藍配置の変遷

2　仏像彫刻

飛鳥仏は中国の雲崗・竜門の石仏の影響も強い。

アルカイックスマイル〔古拙の微笑〕を浮かべる。

①**北魏様式**→端正で硬い表現，左右対称の幾何学的な衣文

A **飛鳥寺釈迦如来像〔飛鳥大仏〕**

鞍作鳥〔止利仏師〕が制作した現存日本最古の仏像。

B **法隆寺金堂釈迦三尊像**

鞍作鳥が制作。

C **法隆寺夢殿救世観音像**

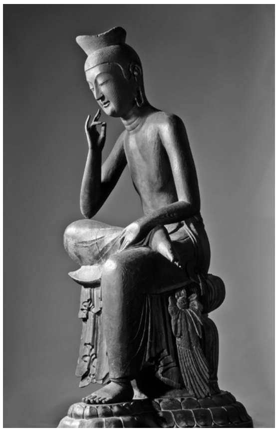
明治時代に**アメリカ人フェノロサ**と岡倉天心が発見。

②**南梁様式**→柔和で丸みのある表現，自然な変化のある衣文

A **法隆寺**〔2 〕**像**

B **中宮寺半跏思惟像**〔如意輪観音像〕

C 〔3 〕**半跏思惟像〔弥勒菩薩像〕**



広隆寺半跏思惟像
〔弥勒菩薩像〕

3 その他

①工芸

A **法隆寺**〔4 〕

B **法隆寺獅子狩文様錦**

C 法隆寺竜首水瓶

D 法隆寺伎楽面

E **中宮寺天寿国繡帳**

法隆寺玉虫厨子

②学問

A 〔5 〕

厩戸皇子が著した法華経・勝鬘経・維摩経という三仏典の注釈書。

B **『天皇記』『国記』**

厩戸皇子と蘇我馬子が共同で編纂した歴史書。645年に焼失？

③渡来僧の活躍

A **百済**の〔6 〕→暦法・天文地理を伝える

B **高句麗**の〔7 〕→紙・墨・絵の具の製法を伝える

まとめ

寺院の伽藍配置は塔中心から金堂中心へと変化していく。

仏像彫刻は端正で硬い北魏様式と柔和な南梁様式に二分される。

第 2 講　PART 3　確認問題

1　崇峻天皇が暗殺されたのちに即位した，最初の女帝はだれか。

① 用明天皇　② 推古天皇
③ 天武天皇　④ 敏達天皇

2　厩戸皇子が蘇我馬子と共同で編纂した国史はどれか。

① 『古事記』　② 『続日本紀』
③ 『天皇記』　④ 『日本書紀』

3　小野妹子を第二回遣隋使として派遣したときの隋 2 代皇帝はだれか。

① 光武帝　② 武帝
③ 洪武帝　④ 煬帝

4　608 年に小野妹子が第三回遣隋使として派遣された際，同行した留学生・学問僧に**あてはまらない**のはだれか。

① 裴世清　② 高向玄理
③ 南淵請安　④ 旻

5　現存する世界最古の木造建築とされているのはどれか。

① 法興寺　② 広隆寺
③ 法隆寺　④ 四天王寺

6 北魏様式で制作された仏像はどれか。

① 飛鳥寺釈迦如来像　②法隆寺百済観音像
③ 広隆寺半跏思惟像　④中宮寺半跏思惟像

7 法隆寺金堂釈迦三尊像を制作したのはだれか。

① 観勒　② 鞍作鳥
③ 旻　④ 曇徴

8 暦法や天文地理を伝えた百済の僧はだれか。

① 曇徴　② 慧慈
③ 旻　④ 観勒

第 2 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：②　**厩戸皇子〔厩戸王・聖徳太子〕**は，593 年に推古天皇の摂政となった。

2 解答：③　厩戸皇子は蘇我馬子と共同で『天皇記』のほか『国記』を編纂した。①と④は奈良時代，②は平安時代に作られた。

3 解答：④　①は後漢の初代皇帝，②は前漢の最盛期の皇帝，③は明の初代皇帝。

4 解答：①　①は第二回**遣隋使**の答礼使として倭に派遣された。

5 解答：③　①は**蘇我馬子**が建立した日本初の本格的寺院，②は秦河勝が山背国（京都府）に建立した寺院。

6 解答：①　②～④は**南梁様式**の仏像。

7 解答：②　**鞍作鳥〔止利仏師〕**は**飛鳥寺釈迦如来像〔飛鳥大仏〕**も制作した。

8 解答：④　①の**曇徴**は**高句麗**の僧で，紙・墨・絵の具の製法を伝えた。